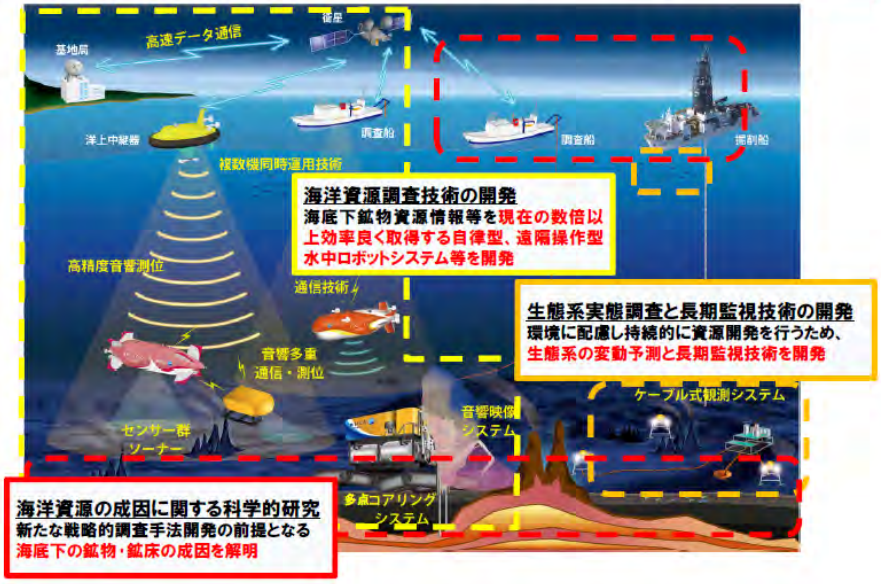
具体的な取組①【海洋鉱物資源開発/海洋再生エネルギー利用】

内閣府　SIP「次世代海洋資源調査技術」
➢ 海洋資源調査産業の創出等

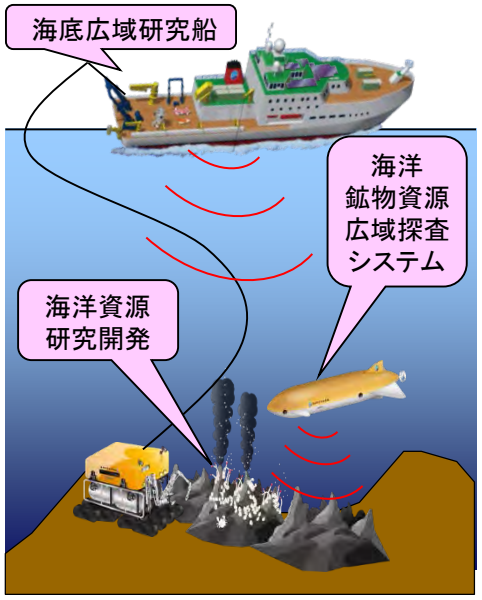
- ✓ 海底熱水鉱床等の海洋資源の高効率調査技術を世界に先駆けて確立
- ✓ 海洋資源調査産業を創出し、グローバルスタンダードを確立

推進体制に
内閣官房
総合海洋政策
本部事務局も参画



文部科学省
➢ 広域科学調査

- ✓ センサー等の広域探査システムの開発
- ✓ 海底広域研究船を建造等による広域科学調査の加速

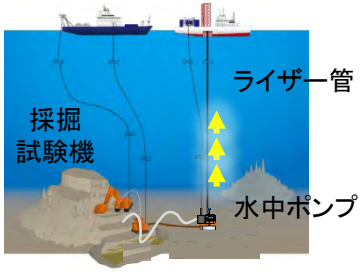


経済産業省
➢ 探査・探鉱、開発、生産

- ✓ 資源量評価の実施
- ✓ 環境影響評価の実施
- ✓ 資源開発（採鉱・揚鉱）技術の開発
- ✓ 製錬技術の開発

＜資源量評価＞
海洋資源調査船
「白嶺」等を使用

＜生産技術の開発＞
海底熱水鉱床の採鉱・揚鉱イメージ図



「海洋再生可能エネルギー利用促進に関する今後の取組方針」
（平成24年5月　総合海洋政策本部決定）

（1）発電技術の実用化に向けた技術開発の加速のための施策
- ○技術開発支援の充実
- ○「実証フィールド」整備（5県7海域を選定）

（2）実用化・事業化を促進するための施策
- ○海域利用における関係者との調整（自治体による調整等）
- ○環境アセスメント（洋上風力発電）の取扱（規制緩和も含む）
- ○普及・コスト低減（港湾インフラ、作業船、送電ケーブル）

洋上風力発電の実証研究
（経済産業省・環境省等）

千葉県銚子沖における
着床式洋上風力発電施設
（提供：東京電力（株））

長崎県五島沖
における浮体式
洋上風力発電施設

海洋エネルギーの技術研究開発
（経済産業省・環境省等）

波力発電施設

潮流発電施設